第2回　メソポタミア文明

1　オリエントとメソポタミア文明

・（　　）とは主に（　　）と（　　）を合わせた地域のことで、「日の昇るところ」という意味であり、現在の中東地域をさす。
・雨が少なく気温が高いが、大河の流域では灌漑農業が発達し高度な文明が発達した。

・メソポタミアとは「川の間の地域」という意味である。
　※（　　）と（　　）の流域。
・（　　）と呼ばれる豊かな地域であった。
・開放的な地形のため、諸民族・国家の興亡が激しかった。
・各地に階級のある都市国家が成立し、（　　）が行われた。

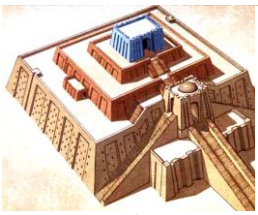
ティグリス川
現在のトルコからイラクにかけて流れている。
イラクにはちょっとまだ行けないなあ。

☆（　　）（前 3000 年ころ～？）
中心地…（　　）・（　　）・（　　）など
・民族系統不明のシュメール人が各地に城壁で囲まれた都市国家を建設した。

＜シュメールの文化＞
・（　　）を使用し、（　　）などに刻んだ。
　→シュメール人が滅んだ後も、メソポタミア地域で広く使用された。
・最古の文学作品である『　　』は、この時代に原型が作られた。
・宗教的には多神教であり、（　　）という塔（聖塔）を都市に建設した。
・月の満ち欠けを基準にする（　　）を使用した。
　→閏月を入れて季節のずれを修正する太陰太陽暦も併用されていた。
・（　　）を発明し、1 週間を（　　）と決めた。

楔形文字
粘土板に葦の茎などを押しつけて書いた。
メソポタミアでは、アケメネス朝ペルシアの滅亡まで使用された。

ウルのスタンダード
前 2500 年くらいに作られたとされる。
スタンダードとは軍旗のこと。木のパネルに石灰岩やラピスラズリがはめ込まれている。


ジッグラト
シュメール時代から作られたが、有名なのは新バビロニア時代に作られたもの。バベルの塔のモデルとなったことで知られる。

サルゴン1世
ひげを編んでいるのが特徴。
彼は世界史で最初に登場する個人である。

☆（　　）（前 24 世紀ころ）
・シュメール人の力が衰退した後、（　　）のアッカド人が栄えた。
◆（　　）（在位 前 24 世紀ころ）
・アッカド王国を建国し、初めてメソポタミアを統一した。

☆（　　）（前 2114 年ころ～前 2004 年ころ）
・シュメール人が建てた最後の王朝で、世界最古のウルナンム法典を発布した。

2　メソポタミアの諸国家

☆（　　）（前 19 世紀ころ～前 16 世紀ころ）

都…（　　）　　※現在のイラクにある

・セム語系の（　　）が建国し、占星術が盛んだった。

ハンムラビ法典
右側に太陽神シャマシュ、左側にハンムラビが描かれている。復讐法は誤解されがちだが、過剰な復讐を防ぐために制定されたと言われている。
イランのスサで発見され、現在はフランスのルーヴル美術館で公開されている。

◆（　　）（在位前 18 世紀ころ）

・第 6 代の王。メソポタミアを統一し（　　）を制定した。

＜ハンムラビ法典の特色＞
①…（　　）→（　　）
②…（　　）→　身分法

☆（　　）（前 17 世紀ころ～前 12 世紀ころ）

都…ボアズキョイ（ハットゥシャ）

・（　　）の民族が、（　　）に建国した。

・戦車を使用し、アナトリアで発展した（　　）の技術を独占したとされる。

・前 16 世紀ころに（　　）を滅ぼし、エジプトとも争った。

・前 12 世紀ころに謎の民族（　　）の侵入、気候変動、内紛などで滅亡した。

ボアズキョイ

ボアズキョイは現在廃墟になっており、城の跡だけが残っている。世界遺産にもかかわらず観光客はほとんどいなかった。考古学的な研究は今も続いている。

ヒッタイトの戦車

車輪に注目。軽量化され、スポークになっている。
ヒッタイトは、現在トルコがある、小アジア（アナトリア半島）で繁栄した。

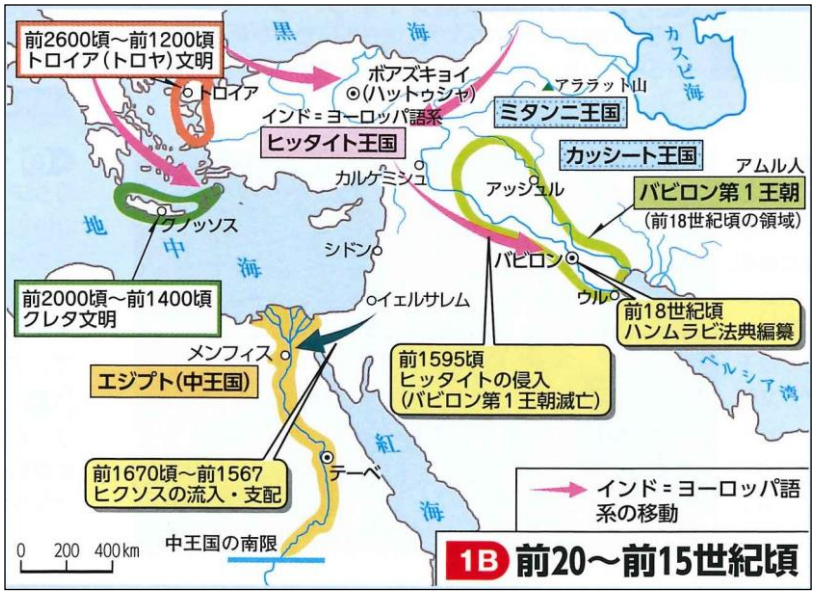
『天は赤い河のほとり』

女子中学生が古代メソポタミアにタイムスリップして、ヒッタイトの王子と恋をするという、ものすごいストーリーのマンガ。
1600 万部売れた。

☆（　　）（バビロン第 3 王朝）（前 16 世紀～前 12 世紀）

・イランのザグロス山脈方面からメソポタミアへ侵入した。

・バビロン第 1 王朝の滅亡後、メソポタミア南部を支配した。

☆（　　）（前 16 世紀～前 14 世紀ころ）

・外来のミタンニ人が、先住のフルリ人などとともにメソポタミア北部に建国した。